

- 長崎大学病院 宮本 俊之 (※引率)
- 長崎大学病院 (市民病院) 宮内 悠里江
- 長崎大学病院 門野 愛 (※)
- 長崎大学病院 大園 恵梨子
- 長崎大学病院 松永 朋恵
- 長崎医療センター 糸瀬 磨 (※)
- 長崎大学病院 (市民病院) 山本 浩之
- 長崎大学病院 (健保諫早病院) 高橋 孝輔
- 長崎大学病院 川崎 玲奈
- 長崎大学病院 (佐世保総合病院) 吉田 茉央
- 長崎大学病院 (原爆病院) 本多 舞
- 長崎大学病院 (健保諫早病院) 森 美央
- 長崎大学病院 (原爆病院) 上野 裕貴
- 佐世保総合病院 野中 俊章 (※見学)
- (※新・鳴滝塾からの参加者)



注：長崎大学病院群の研修医  
【】内は研修先病院名

**長崎大学病院 初期研修医のハワイ大学短期海外研修**  
この研修は、長崎大学病院群の研修プログラム研修医を対象に、初期研修カリキュラムの一環として、1) 高度シミュレーション教育で技術習得 2) ハワイ大学の関連病院の見学及び現地レジデントとの交流 3) 英語コミュニケーション能力を向上 4) ハワイの文化、生活を体験することを目的として、毎年10名の初期研修医が参加しています。(長崎県新・鳴滝塾からも3名参加)

Day1 (2012.9.17)	Day2 (2012.9.18)	Day3 (2012.9.19)	Day4 (2012.9.20)	Day5 (2012.9.21)
Sim Tiki Simulation Center の前で	様々な気道確保のデバイス実習	1日中シミュレーション！ One Night On-Call ダツシュ！	Tripler Army Hospital 見学	ICU (鎖骨下、内頸、大腿等)
				Dr. Berg が自ら被験者モデルに！
講義：シミュレーター教育の実際	日本にはない器具も	3人1組で対応	この木何の木の前で jump！	
♪Lunch Time♪	Unstable patient への対応	medical crisis team training 終了後の「ブリーフィング」	最後のシミュレータートレーニング！！	CVの実習
急患を診断し、専門医へ電話で診察依頼	症例ごとにフィードバック	毎日の日課：夜のミーティング	1日早い打ち上げ♪	5日間の研修修了！

進路を決めつつあるこの時期に外国へ行きその魅力に触れたこと、語学力の大切さを実感したことなど含め、全体としてとても有意義な時間でした！R.K

ハワイで学んだことがすべて正しくて自慢できるものとは思っていませんが、海外という環境で勉強できたことは本当にいい経験、また刺激となりました。H.Y

研修が始まるまで英語や研修そのものに対する不安でいっぱいでしたが、想像していたよりずっと楽しかったです。M.H

9月17日～21日（5日間）に行われた『ハワイ大学シミュレーション研修』。

今年は、隊長の宮本先生を筆頭に、研修医12名、後期研修医1名（引率）の計14名が参加しました！

レッスンは、朝9時～午後3時まで。もちろん基本的に英語での会話ですが、難しいところは宮本隊長が和訳して助け舟を出してくれます。宮本隊長曰く、「初日から先生が帰れないほど積極的に質問がでたことに驚いた。反省点もあるけど、今年のチーム長崎は、ハワイ大学の先生たちにとっても特殊で、偉才をはなっていた！その証拠に、終了時間の3時になっても担当の先生は帰宅することなく、延々と講義が続くのでは？と思うほどの勢いだった。ハワイ大学の先生からの長崎の研修医は、毎年評価が高いが、今年は例年を上回る評価をほとんどのfacultyからいただいた。これはきっと、昨年救命救急センターの山下先生とシミュレーションセンター専任看護師の田下さんが参加したことで、長崎でもハワイに負けないシミュレーター教育が行われていることが一つの要因なのでは！？」とのこと。

すでに、来年度の企画も練ってきたそうですよ！来年度もレベルアップしたハワイ研修をお楽しみに～（●^o^●）♪

急変患者へ複数のスタッフで対応するという場面を通じて、失敗を繰り返しながらも参加したメンバー間に、コミュニケーションの大切さが意識されるようになり、チームワークが育まれていったことは感動的でした！O.I

回数をこなすうちに、お互いの役割を理解し迅速に対処できたと思います。その一方で、手の空いた人は自分のできることを探して率先して動く必要があることを痛感させられました。K.T

たった1週間ではあまり変わらないだろうと思っていましたが、本当に視野が広がった気がします。もっと勉強して頑張れる気がしました！Y.M

# 2013年度 長崎大学病院 外科専門医育成ハブセンター 誕生！

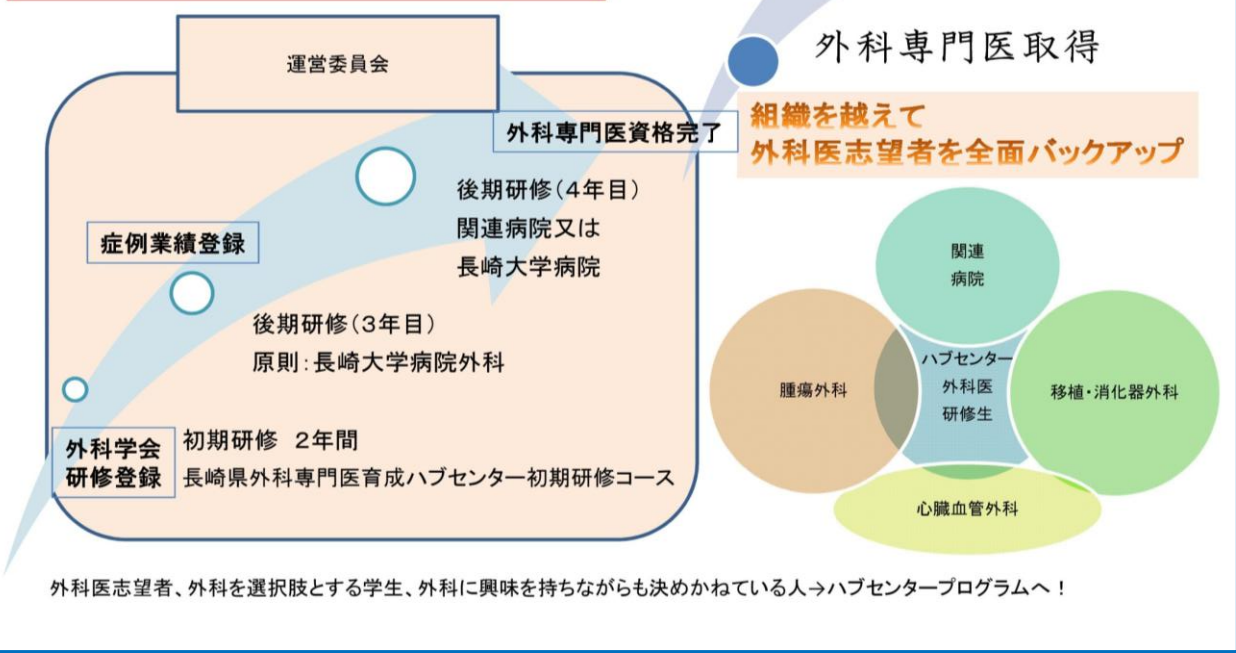
長崎大学病院の腫瘍外科、移植・消化器外科、心臓血管外科が連携し、外科専門医育成の教育拠点としてハブセンターを2013年度から新設します。

外科専門医養成ハブセンター（通称：外科ハブ）では、外科専門医を目指す研修医に対して、各外科医局への入局の有無に拘わらず、外科3科が垣根を越えて連携し、4年間で外科専門医取得に必要な研修を完了するために、質の高い、魅力的な育成プログラムを提供します。

Q1: 何で外科ハブセンターが必要なんですか？  
A1: 外科専門医やその一つ上の外科系専門医（消化器・呼吸器・小児・乳腺内分泌・心臓血管）を目指す場合、当院では腫瘍外科、移植・消化器外科、心臓血管外科で研修し、既定の症例を経験する必要があります。外科専門医を目指す人にとって、初期研修期間から効率的に規定症例や救急処置を研修できるようになります。

Q2: 入局しないと駄目ですか？  
A2: 入局の有無に拘わらず研修できます。後期研修も各医局に入局することなく、希望する必要な外科研修を受けることができます。大学外の各医局の関連病院での研修も、入局することなくローテーションが可能です。

- ハブセンタープログラムの特徴
- 1: 初期研修2年+後期研修2年を教育し、(初期、後期のみも可) 最短期間で外科専門医受験をさせる。
  - 2: 途中の志望科変更可能。
  - 3: 入局者もハブセンターにて責任もって教育
  - 4: ひとりひとりを丁寧にフォローするメンター教育。
  - 5: プログラム終了後の選択 (他県勤務、本県就職、転科、大学入局など)は自由です。



外科ハブセンターについての問合せ先はこちら → MAIL: gekahub@gmail.com  
詳細は当センターのHPをご覧ください！「長崎大学病院 外科ハブセンター」で検索できます

**速報！**  
**選ばれています！**  
**長崎大学病院！**

**2012年マッチング中間発表ランキングで全国31位！（1021病院中）**  
**2012年マッチング55名！国立大学病院7位！（42病院）**  
**日本一の教育病院を目指し、これからも頑張ります！！！！**